

福祉とものづくりの橋わたし

ジャンプアップ 福祉フォーラム

参加
無料



かわさきJプロジェクト 平成23年度成果発表

“真に必要とされる福祉機器・福祉サービス”とは何か？
それを探り、川崎のものづくりの力で製品に結びつけ、
福祉環境の改善を目指す「かわさきJプロジェクト」が、
本年度に取り組んだ試作開発品の発表です。福祉現場
とものづくり現場で活躍するフロントランナーの皆様
をお迎えして、特別講演と座談会も開催。福祉と
ものづくり双方のパートナーシップを深めます。

日時 2012年3月13日 火 開場 12:00
閉場 20:00

場所 ソリッドスクエアホール 開場時間中、
川崎市幸区堀川町580ソリッドスクエア地下1階 自由にご覧下さい

主催 川崎市地域雇用創造推進協議会

参加方法 申込不要 (ただし、特別講演・座談会のみ裏面の事前登録書でお申し込み下さい。)

プログラム

- 12:00 ● 試作開発品・かわさき基準認証福祉製品・関連福祉機器展示 ～20:00
～利用者の自立を助け、介助者の負担を軽減する福祉機器の展示～
*開発担当者が各ブースで対応します。
- 14:00 ● 主催者あいさつ 川崎商工会議所企画広報部 (川崎市地域雇用創造推進協議会事務局)
- 14:10 ● 成果発表「かわさきJプロジェクト平成23年度試作開発福祉機器」
～福祉現場のニーズから生まれた福祉機器のプレゼンテーション～
事業説明/電話集音器・移動補助具・ブレーキ改良歩行車・便座離座センサー・おむつ交換カート
- 15:30 ● 特別講演「“おむつゼロ”が介護を変える！」
～どうやっておむつを外すことができたのか？ それを助けた“トイレでふんばる君”の開発～
講師：特別養護老人ホーム世田谷区立きたざわ苑施設長 岩上広一氏
- 16:30 ● 試作品説明ツアー 開発担当者がご説明します
- 17:40 ● 座談会「真に望まれる福祉機器・福祉サービスの開発から普及まで」
～福祉現場のニーズを製品に結びつける福祉コーディネートの意義～
出席者：きたざわ苑施設長 岩上広一氏 (株)伊吹電子代表取締役 松田正雄氏
ベクトル(株)代表取締役 小山久枝氏
座長：横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部研究開発課長 飯島浩氏
- 19:00 ● 閉会のあいさつ 川崎市経済労働局労働雇用部 (川崎市地域雇用創造推進協議会事務局)
- 19:10 ● 試作品説明ツアー 開発担当者がご説明します
- 20:00 ● 閉場

特別講演

「“おむつゼロ”が 介護を変える！」

〈講師〉
特別養護老人ホーム世田谷区立
きたざわ苑施設長

岩上広一氏



関連企画

来て!見て!触って!福祉機器
ジャンプアップ
福祉フェア♪

3月24日(土)・25日(日)
11時～17時 川崎駅東口銀座街

問合せ
申込先

川崎市地域雇用創造推進協議会 かわさきJプロジェクト

〒212-0013 川崎市幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館5階 TEL 044-201-6820 FAX 044-556-5881
E-mail j-project@kis-plus.jp URL http://j-project.kis-plus.jp

「かわさきJプロジェクト」で検索して下さい

14:10～15:10 成果発表

「かわさき」プロジェクト
平成23年度試作開発福祉機器」

かわさきJプロジェクトのメンバーがジャンプアップコーディネータとして、施設での介護体験や福祉現場で聴取したニーズを基に試作開発した福祉機器の成果発表です。電話の聴こえを助けるローテクグッズ「でんでん」、バーを使って移動をアシスト「自立支援BAR」、自立歩行への第一歩！ 連動ブレーキ歩行車「自力でサンボ」、トイレの危ないをキャッチ！ 安心・快適なトイレ環境へ「便座離座センサー」、使う人の目線に立った機能がギュッと詰まったおむつ交換カート「キュービックカート」など、福祉現場の改善を図る試作開発品のプレゼンテーションです。

15:30～16:20 特別講演

「“おむつゼロ”が介護を変える！」

“日中おむつゼロ”を達成した特別養護老人ホーム世田谷区立きたざわ苑。その取り組みの意義と手法、そしてそれを助けた排泄補助具“トイレでふんばる君”の開発秘話です。入所者のおむつを外す“おむつゼロ運動”は、国際医療福祉大学大学院竹内孝仁教授の理論による排泄自立支援の取り組み。「誰でもおむつで排泄したくない。私たちはあたり前の生活を提唱しているだけ」という自立支援ケアの思想は、あるべき介護の一つの姿を提言します。

17:40～19:00 座談会

「真に望まれる福祉機器・福祉サービスの開発から普及まで」

利用者の自立を助け、介助者の負担を軽減する“真に必要とされる福祉機器・福祉サービス”とは何か？ それを探り、製品に結びつけるコーディネートの意義と“かわさき基準”の理念を活かす福祉機器・福祉サービスの開発、製造、販売までのスキーム作りについて、福祉現場とものづくり現場で活躍する3氏とJプロジェクトメンバー、来場者を交えて意見交換します。

●16:30～17:30

試作品ガイドツアー

Ω開発担当者が試作品をご紹介します！ 直に触れて、動かして、ご意見をお聞かせください♪

●19:10～20:00

川崎市地域雇用創造推進協議会とは、地域経済の活性化と雇用の創出を目的に設立された、福祉・製造関連等12団体からなる組織で、厚生労働省の委託事業を行っています。

<川崎市地域雇用創造推進協議会構成団体>

川崎商工会議所・川崎市・川崎市工業団体連合会・川崎工業振興倶楽部・栗木マイコンシティ企業連絡会・社会福祉法人川崎市社会福祉協議会・川崎市福祉サービス協議会・川崎市老人福祉施設事業協会・社会福祉法人伸こう福祉会・神奈川県立東部総合職業技術校・かわさき基準推進協議会・株式会社浜銀総合研究所

かわさきJプロジェクトとは、福祉現場とものづくり現場の橋わたしをすることで、福祉環境の改善を提案する川崎市地域雇用創造推進協議会の実現事業です

会場案内

ソリッドスクエアホール TEL 044-549-6009

〒212-0013川崎市幸区堀川町580番地

ソリッドスクエア地下1階

JR川崎駅西口徒歩5分 京浜急行京急川崎駅徒歩3分

※事務処理上、講演会・座談会参加希望者は下記にご記入のうえ、FAXまたはe-mailで事前登録をお願いします

※事前登録締め切り 2月29日

※締切後は、お電話でお問い合わせ下さいTEL044-201-6820



ジャンプアップ福祉フォーラム事前登録書

FAX 044-556-5881

E-mail j-project@kis-plus.jp

講演会参加	座談会参加	お名前	施設・会社など所属	電話番号など連絡先
連絡事項等				